



ブランド生態調査 (BS) 2022

2020年10月-11月実施

「年代: Hi vs Lo」

2022年 5月

片平秀貴 + MBFブランド生態系研究チーム

www.mbforum.jp

katahira@mbforum.jp



方法論

多数(今回は11)の領域(食、住い、etc.)について、

**好きなブランドを「純粹想起」で
さらに
その好きな理由も「自己記入」で
尋ねる**

片平が発案。第1回を2019年2月に実施
今回は第2回、2020年1月に実施



BS2022調査概要

調査期間 2021年11月12日～11月24日

調査対象

首都圏1都3県(東京・神奈川・埼玉・千葉)の18歳以上の男女4070名

関西地区2府4県(大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山)の18歳以上の男女3080名

性年齢で均等割付 東西合計7150名(昨年度は7379名)

調査方法: インターネット調査

純粹想起法: 提示した複数の領域で「好きなブランド」と「好きな理由」を自己記入してもらう

対象領域(テーマ): 衣・食・住・情報など12領域



調査票設問(例)

【食品・飲料:加工食品(レトルト/冷凍食品/インスタント食品などを含む);菓子;調味料;飲料;酒類;健康食品/健康飲料;生鮮品 など】

好感をお持ちのもの, ちょっと気になっているもの(商品、サービス、企業などの名前)を思いつくままに3つまで、思いつかないときはそのまま先へ

- 1.
- 2.
- 3.

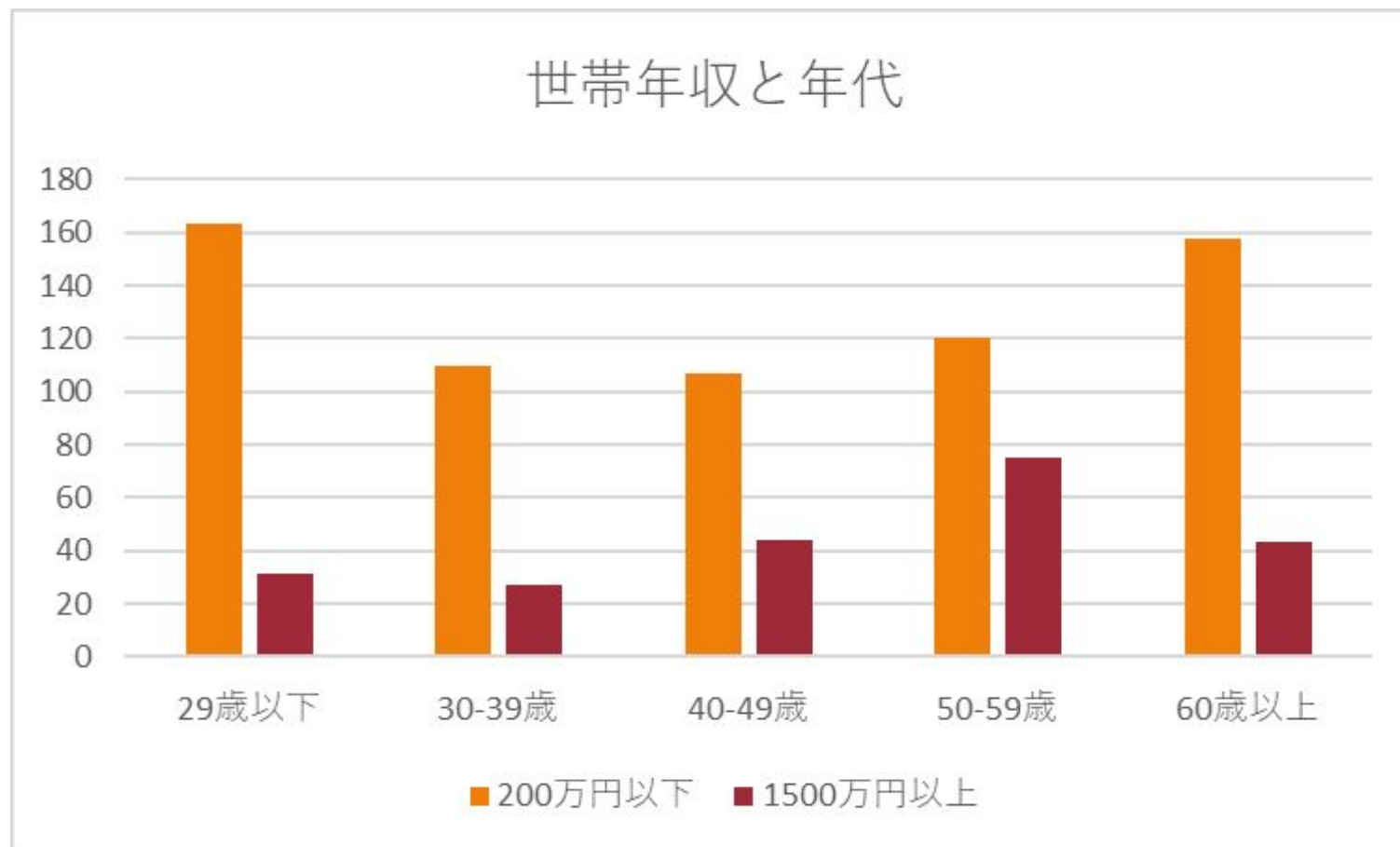
ここに何人が「〇〇〇〇」と記入してくれたか？

好感をお持ちの理由(思いつかないときはそのまま先へ)

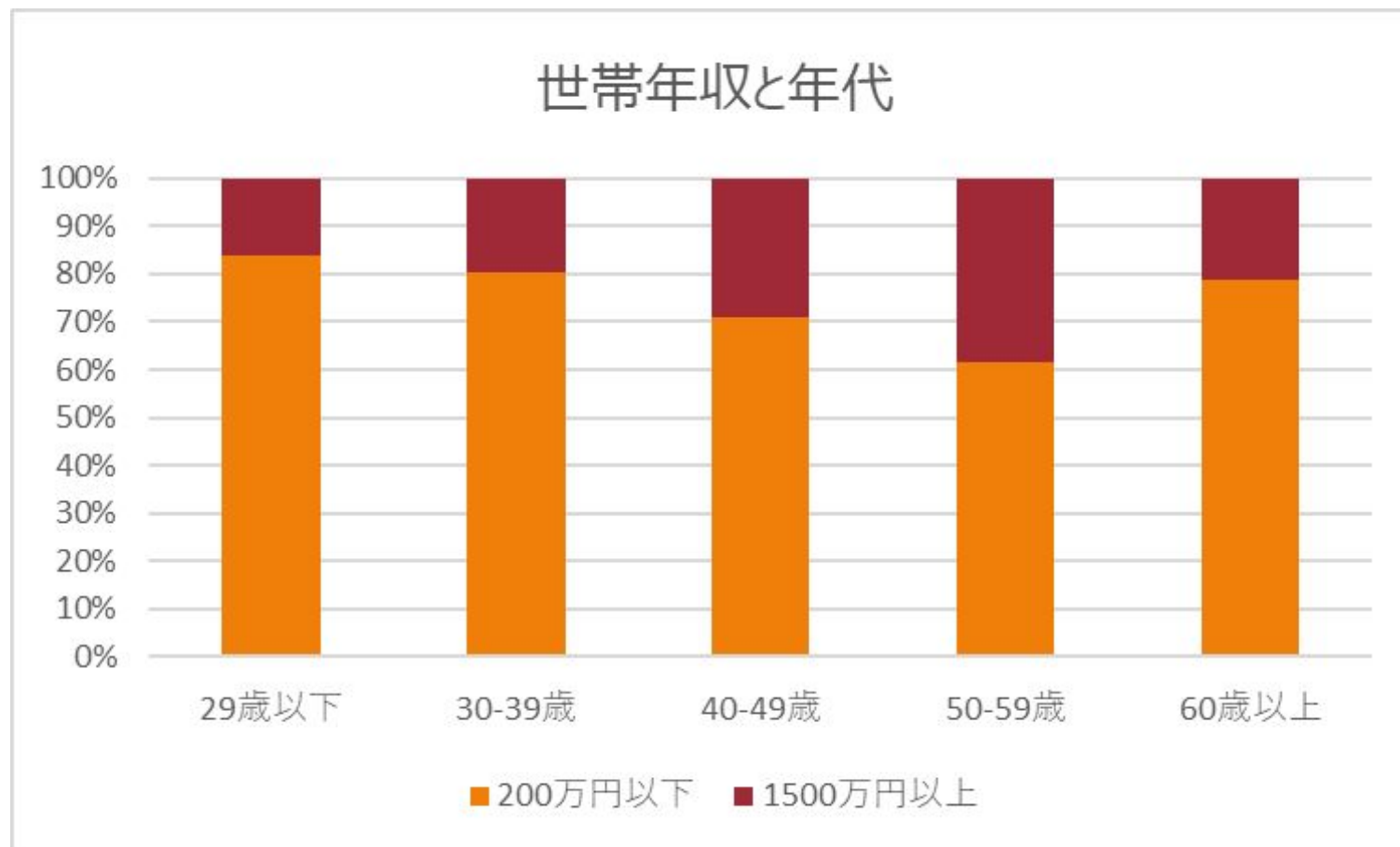
- 1.
- 2.
- 3.

その理由は？

年代と年収は、思ったほど比例していない



年代と年収は、思ったほど比例していない

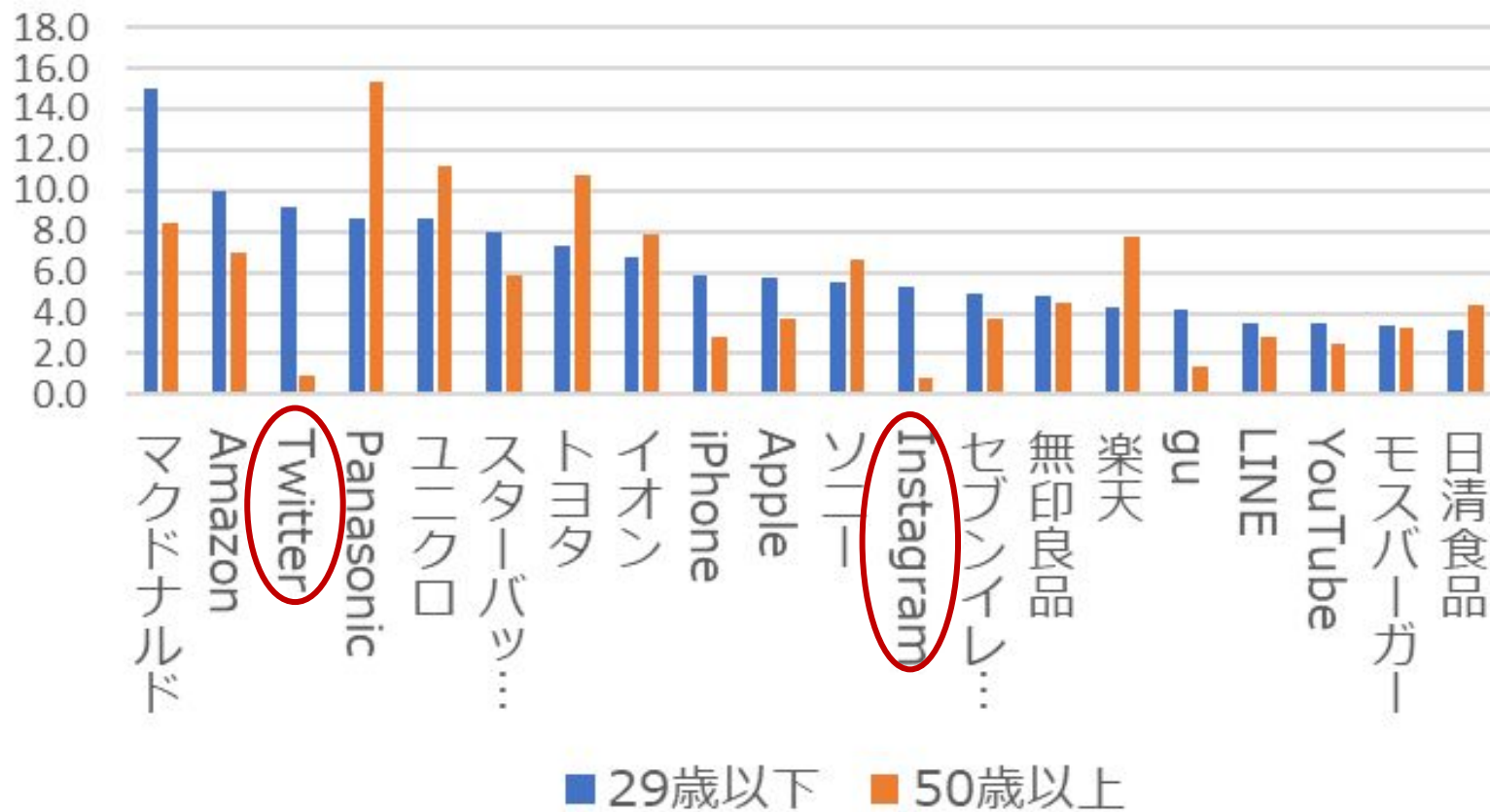


**年代比較
全領域**

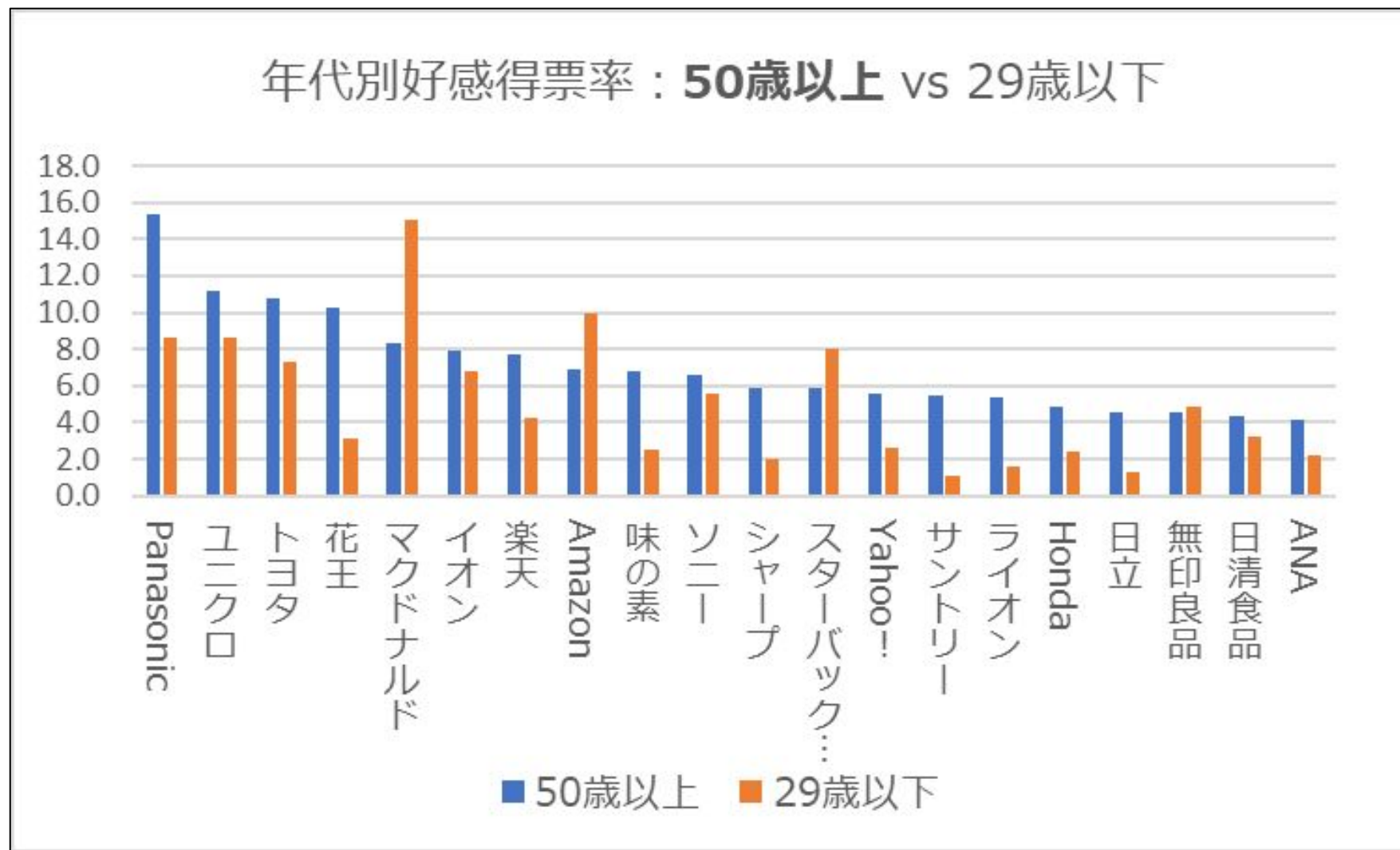
29歲以下 vs 50歲以上

全領域
29歳以下
1430人

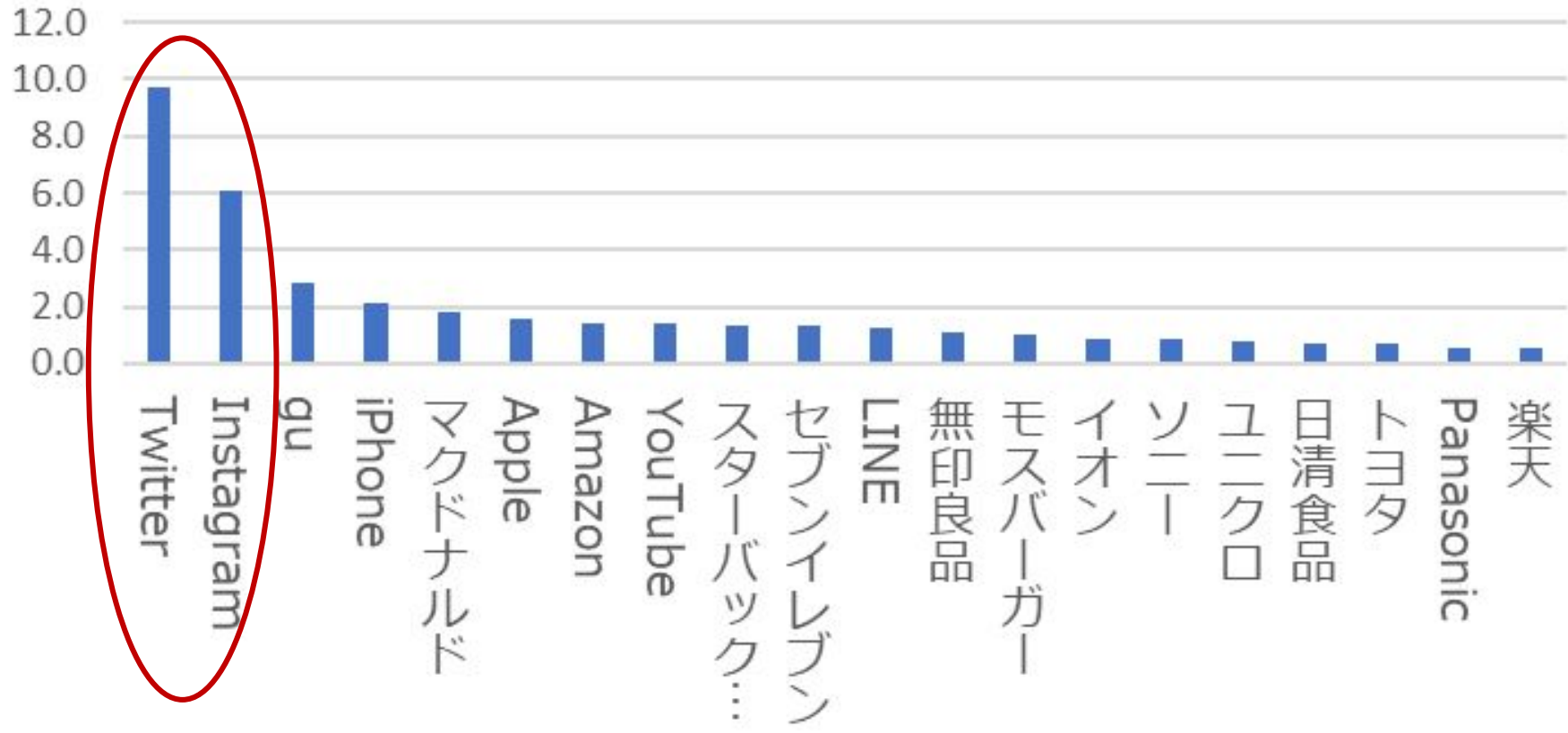
年代別好感得票率：29歳以下 vs 50歳以上



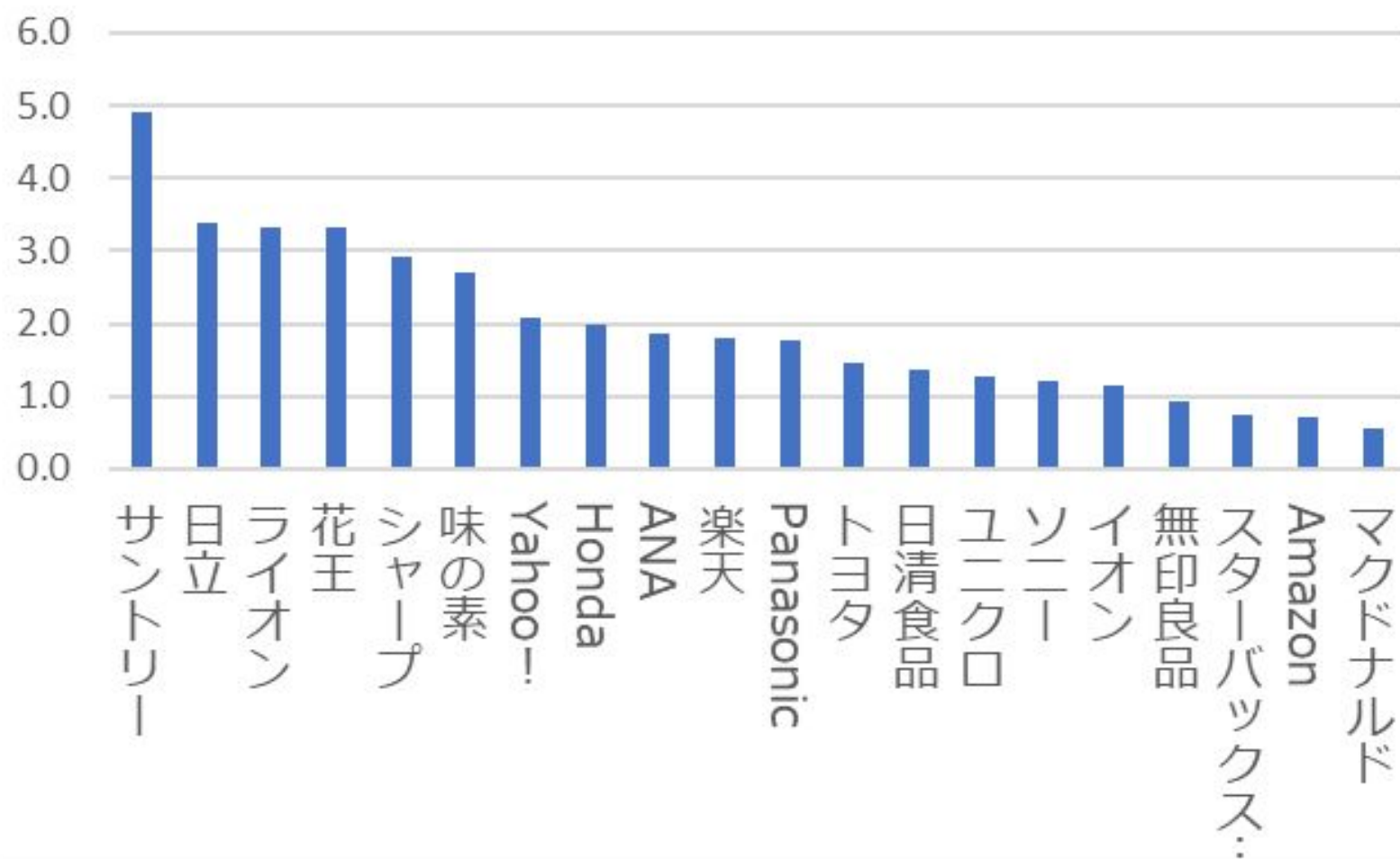
全領域
50歳以上
2859人



好感得票率の比:29歳以下÷50歳以上



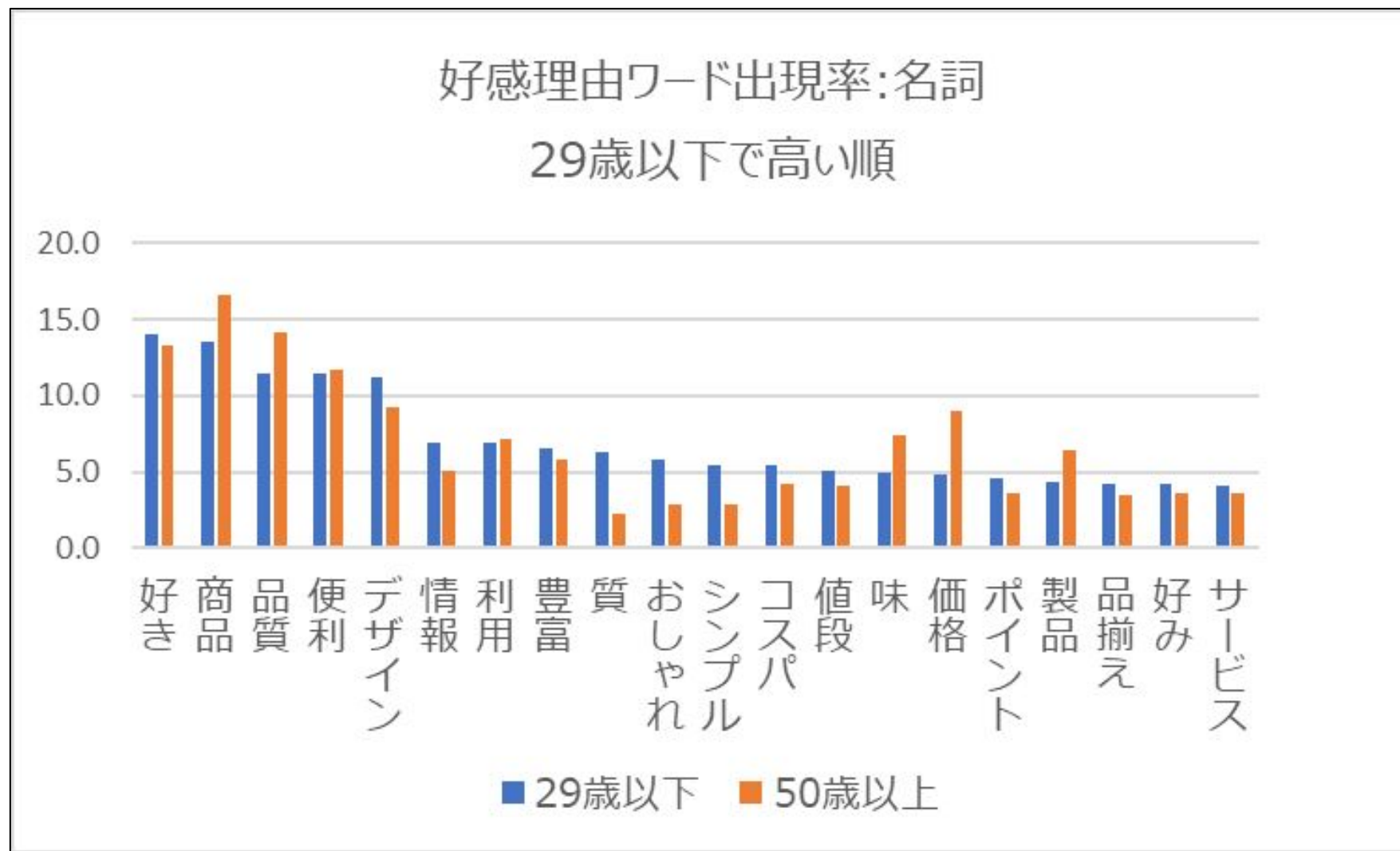
好感得票率の比：50歳以上÷29歳以下



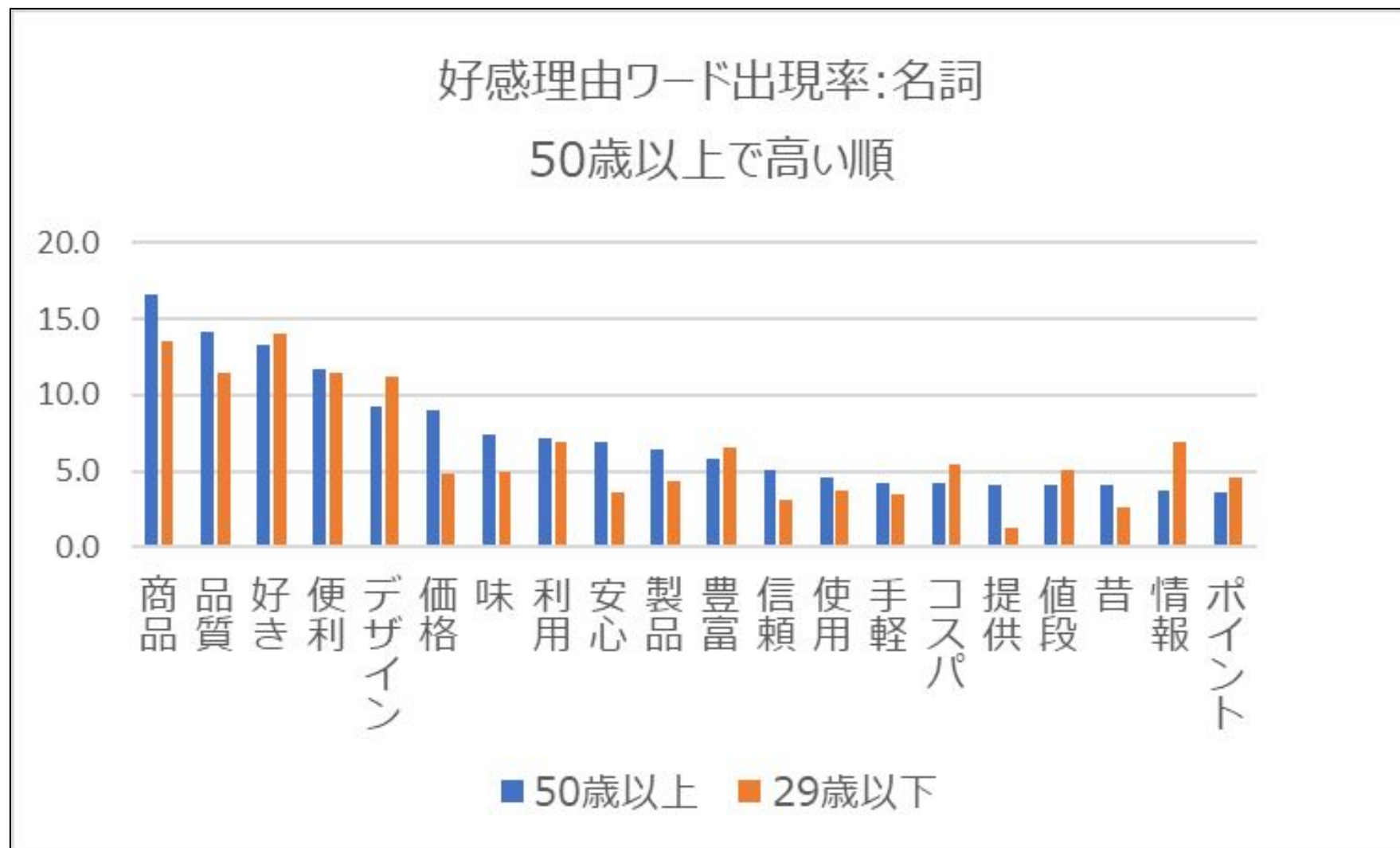
【ブランド好感度】

1. 若者に受けるブランドは、圧倒的にTwitterとInstagram
2. シニアだけに人気のブランドは、サントリー
3. 日立、ライオン、花王、シャープ、味の素、もシニアの得票が若者の得票の2倍以上

ワード出現率
29歳以下
1430人

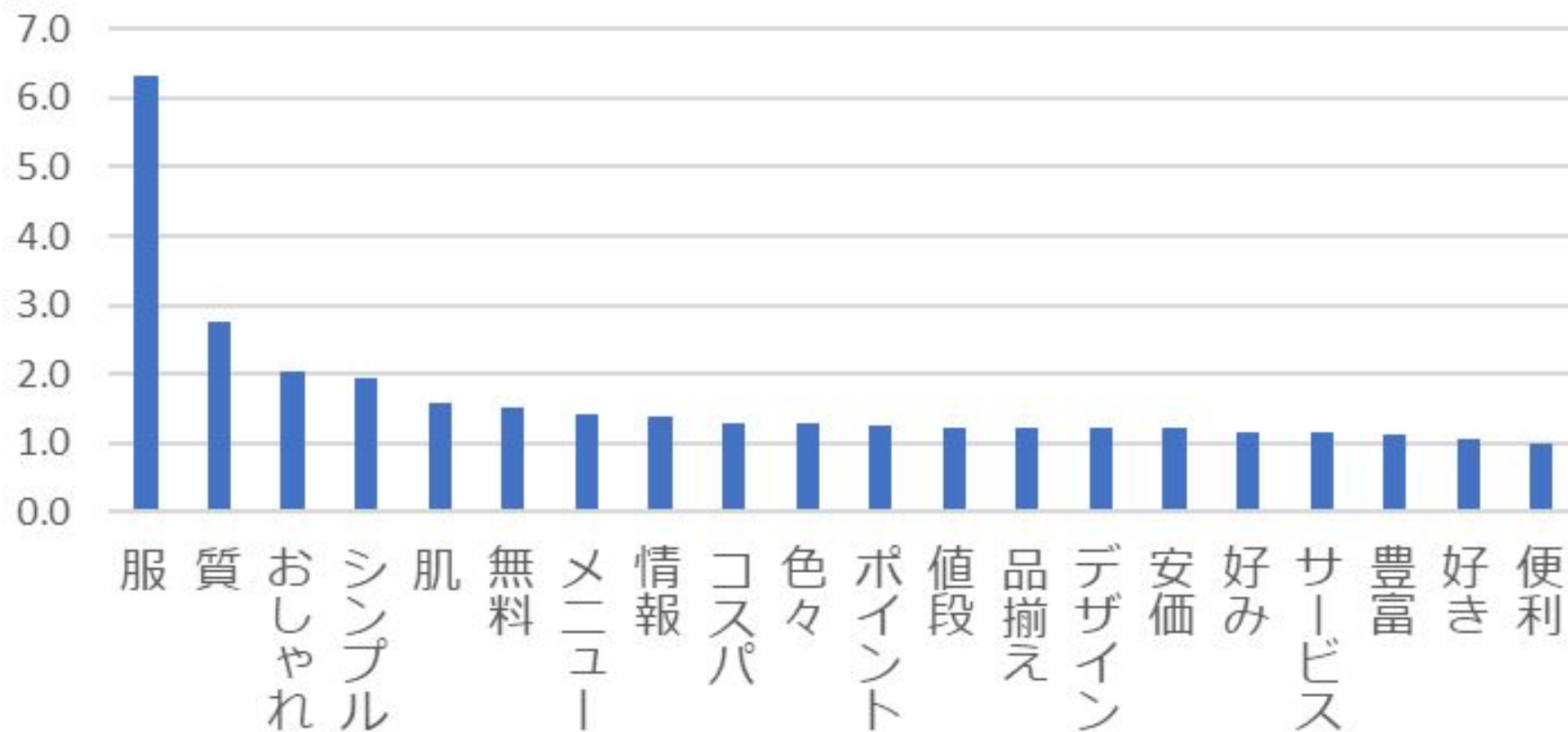


ワード出現率
50歳以上
2859人



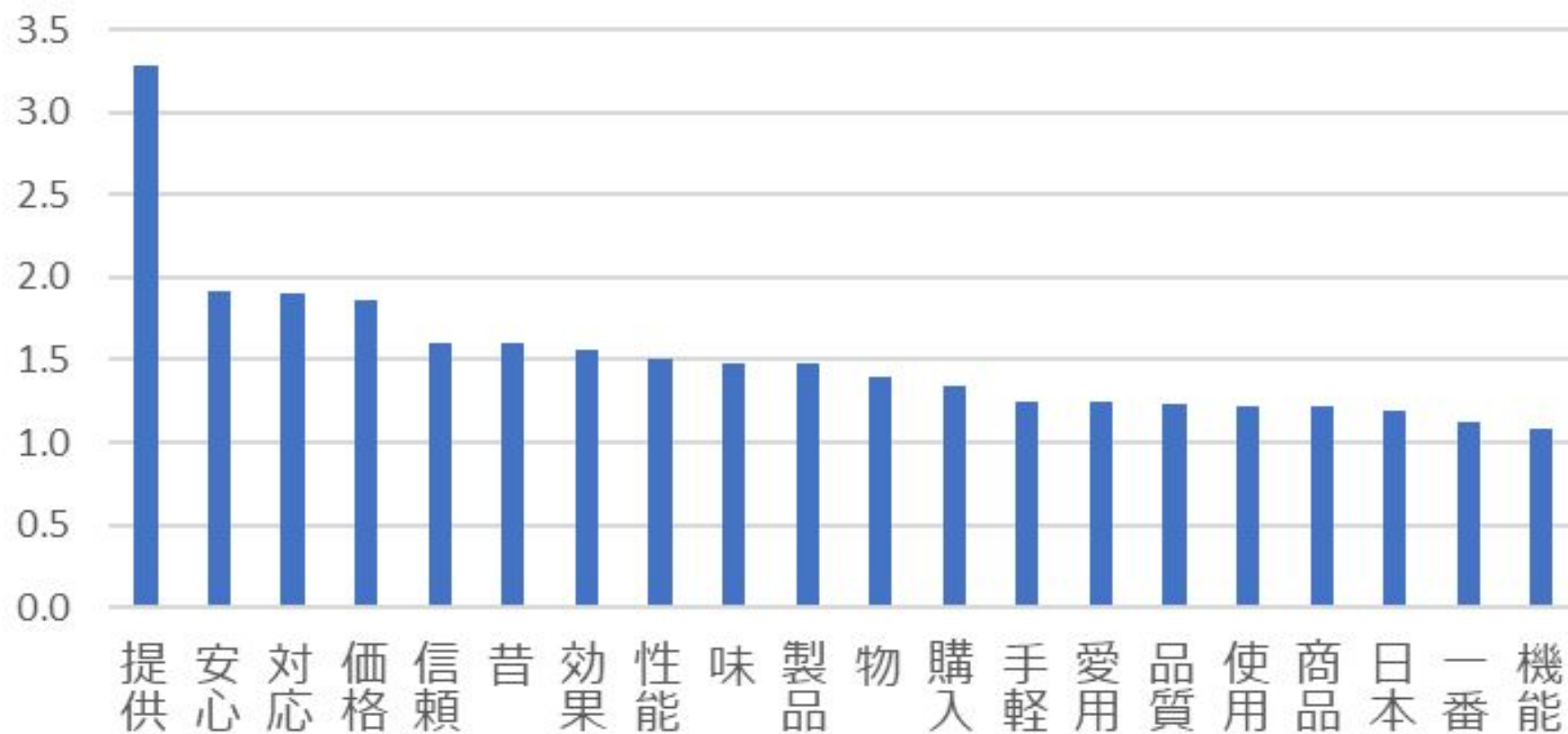
好感理由ワード出現率の比：名詞

29歳以下÷50歳以上



好感理由ワード出現率の比:名詞

50歳以上÷29歳以下



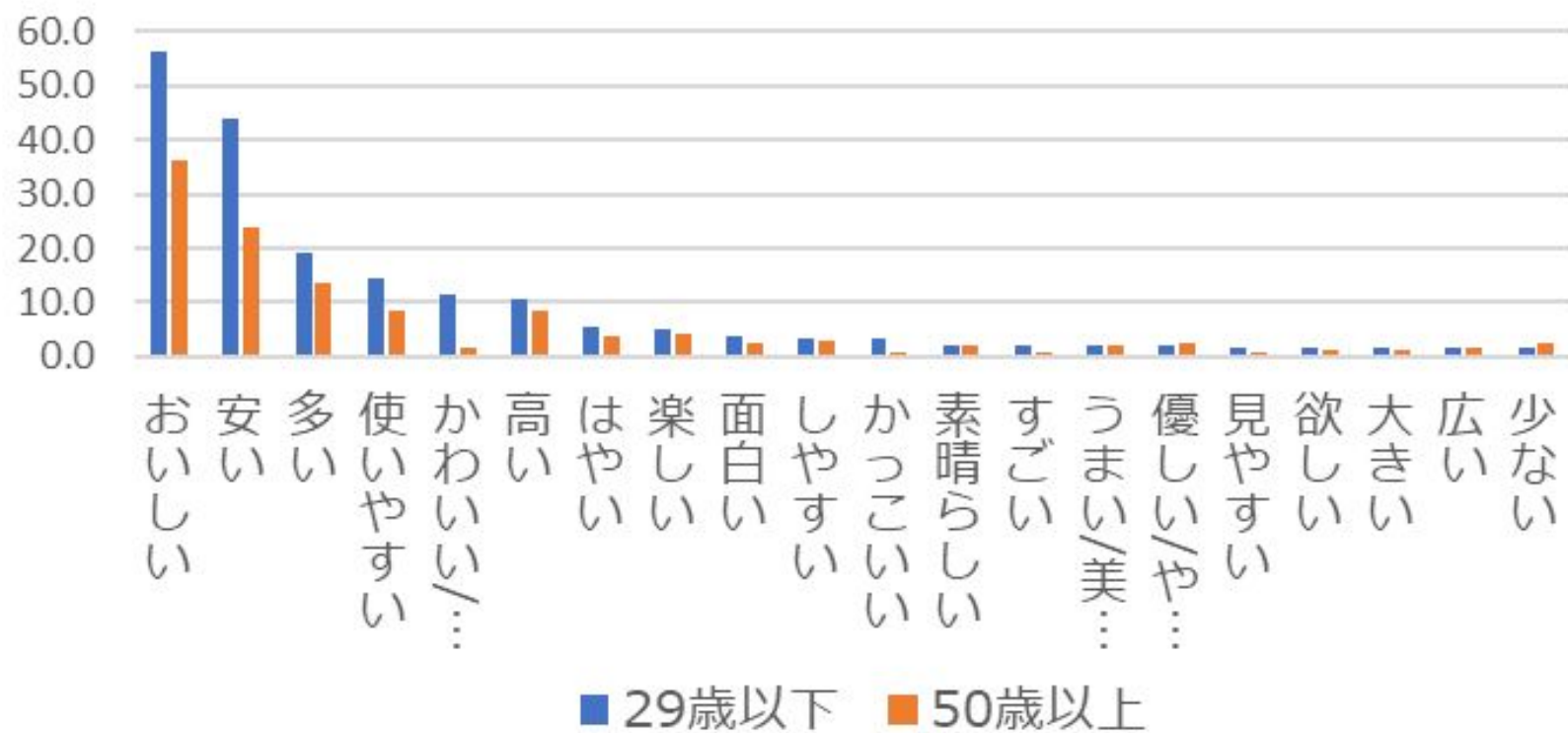
【好感理由ワード:名詞】

4. 若者もシニアも、よく使う名詞は差がない: 上位5位までは、「好き」、「商品」、「品質」、「便利」、「デザイン」と同じワードが並ぶ
5. 「利用」、「豊富」も差がなく、それらに続く
6. 若者に偏ったワードは、「服」、「質」、「おしゃれ」、「シンプル」
7. シニアに偏ったワードは、「提供」意外特に目立ったものはない

ワード出現率
全領域
29歳以下
1430人

好感理由ワード出現率：形容詞

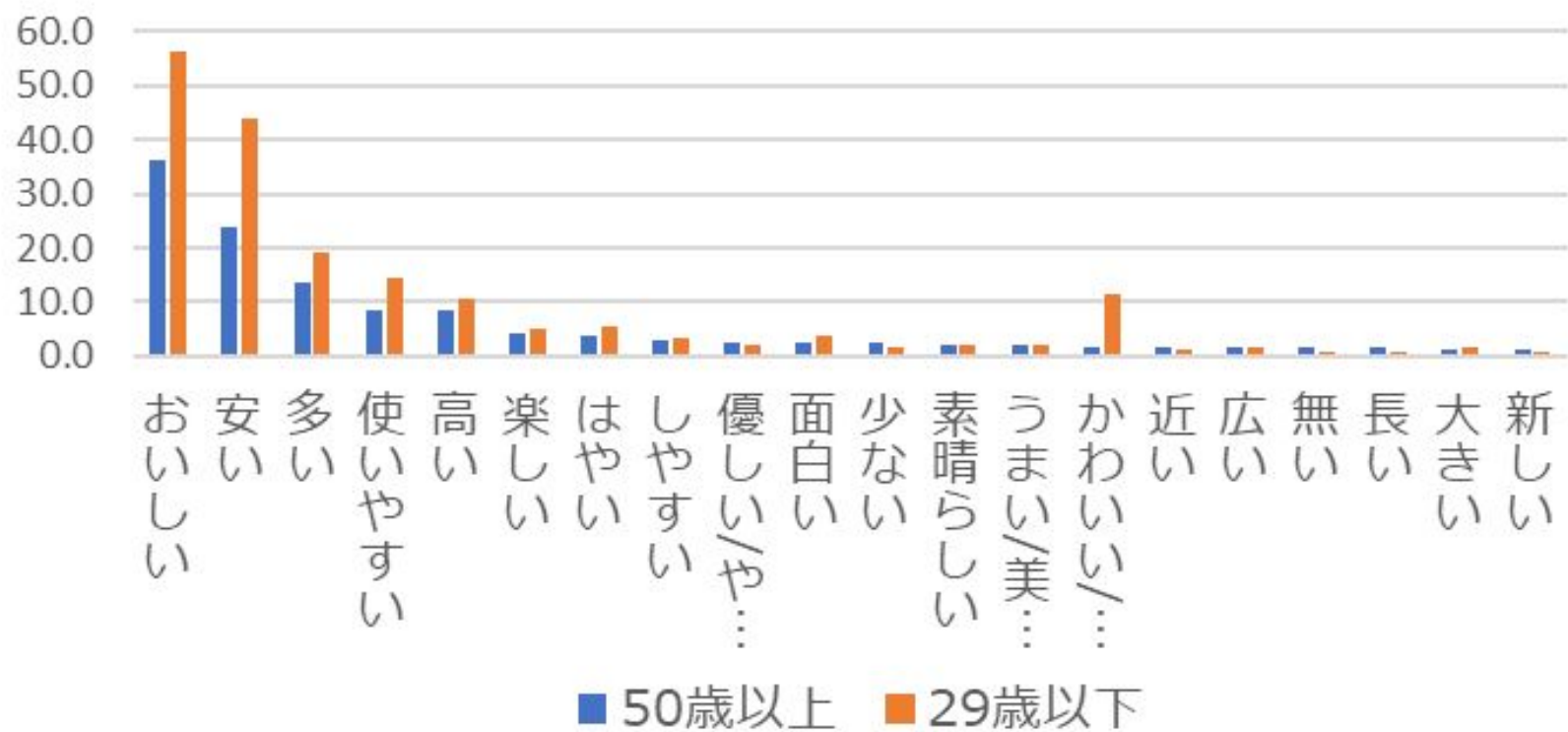
29歳以下で高い順



ワード出現率
50歳以上
2859人

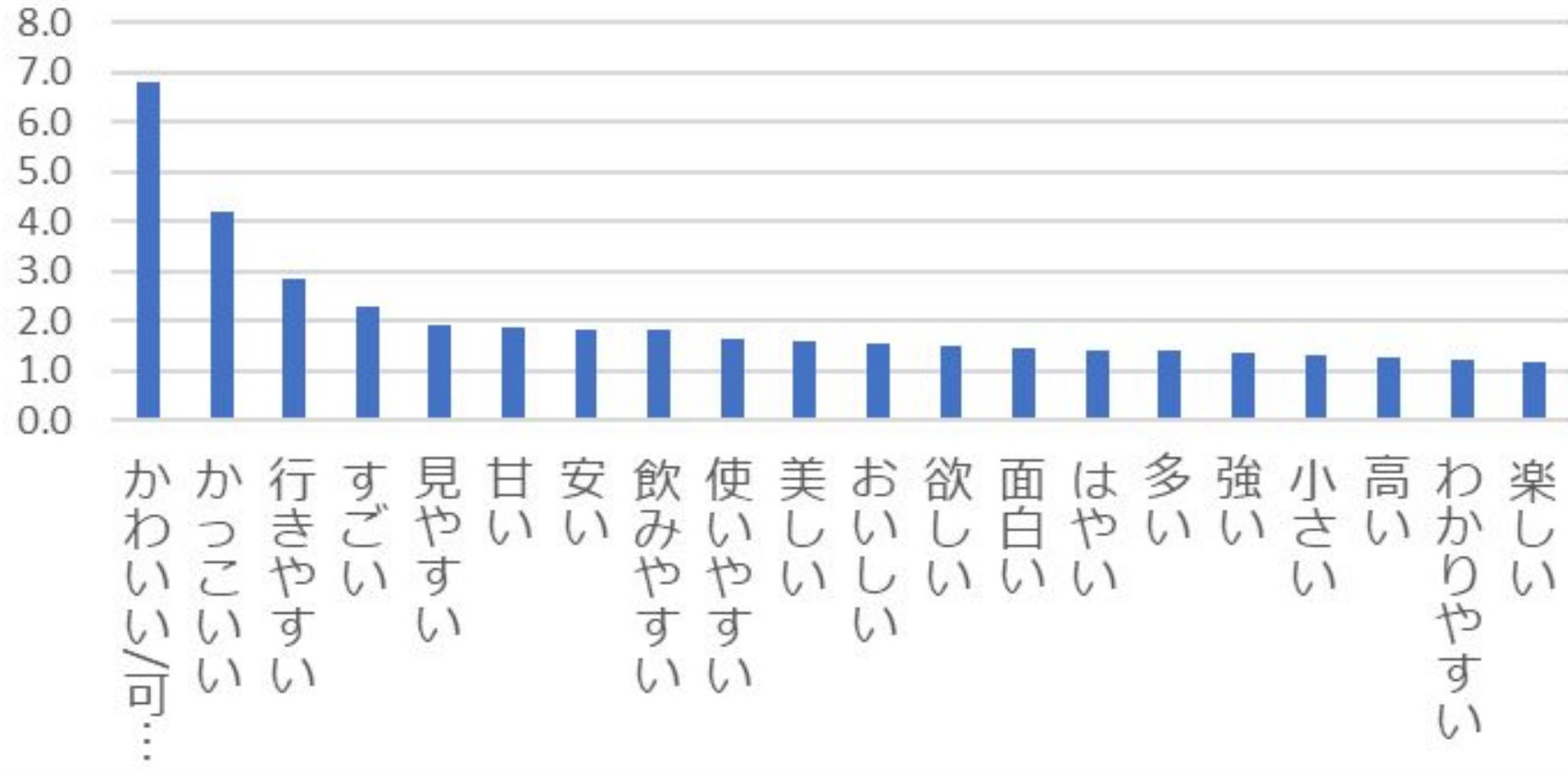
好感理由ワード出現率:形容詞

50歳以上で高い順



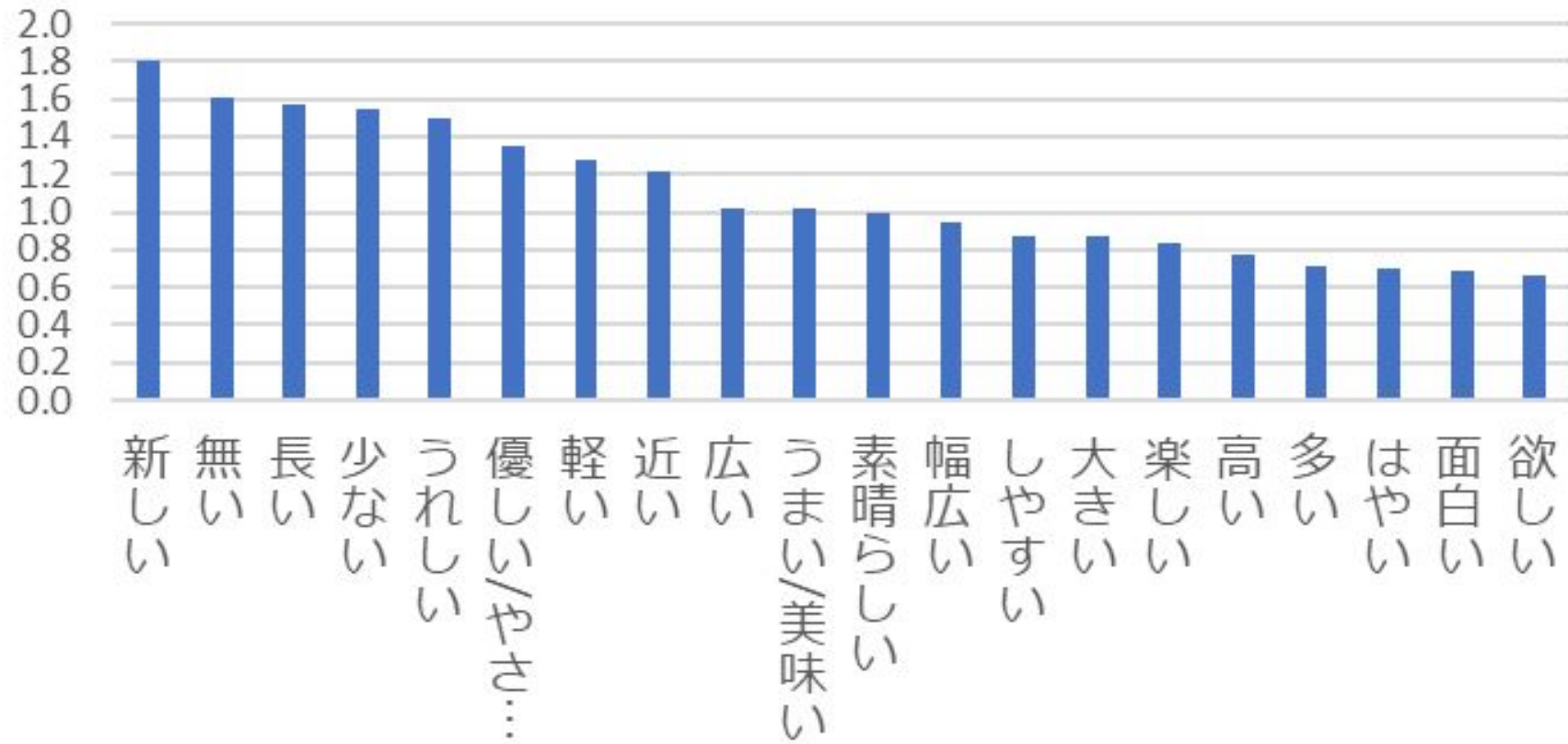
好感理由ワード出現率の比:形容詞

29歳以下÷50歳以上



好感理由ワード出現率の比：形容詞

50歳以上÷29歳以下



【好感理由ワード:形容詞】

8. 形容詞も、頻度上位は若者もシニアも、差がない。「おいしい」、「安い」、「多い」、「使いやすい」など
9. 若者では、「使いやすい」のほか、「しやすい」、「見やすい」、「飲みやすい」など「・・・やすい」が目立つ
10. 若者に偏った形容詞は、「かわいい」と「かっこいい」
11. シニアに偏った形容詞は、特にない



お問合せ

丸の内ブランドフォーラム 片平秀貴
〒100-0005
千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル4F
TEL03-5288-7400; Mobile: 070-5367-9192
URL: www.mbforum.jp
E-mail: katahira@mbforum.jp